

## ポケットパークのワークショップが始まりました。

昨年度、庁舎内の若手に集まってもらって始めたポケットパークのワークショップ。引き続いて今年度は、地域住民とのワークショップが始まりました。地域の核となるポケットパークを目指して、進めていきます。

### ☆昨年度は

いくつもあるポケットパークの候補地の選定方法をワークショップで検討しました。ポケットパークの目的を確認し、点数化することで絞っていきました。

ワークショップの成果をもとに、候補地を絞り込みました。

### ☆今年は

一か所に絞られた候補地で、地域住民の方々とともに、どんなポケットパークが良いかについてワークショップで検討していきます。

女性や子どもにも声をかけて頂き、にぎやかに始まりました。

予算が限られていることから、予算を住民の方々と共有し、どこにお金をかけるのか？についても検討していいいきます。

そして、心強いことに、住民の方々から「みんなそれぞれができることを持ち寄って、手作りしながら整備していこう！」という声があがっています。

候補地が小学校の跡地ということもあり、もう一度この場所をコミュニティの活性化の核にしたいという気持ちが伝わってきました。



### ☆協働が進む

ポケットパークを管理運営していくためには、市民と行政の協働が欠かせません。むしろ、このような現場があることで協働が進んでいくと感じています。

近年は、市民の中でも、地域のために尽くしてくださっている「お役」の男性だけでなく、女性や子どもも一緒になって「協働」することで、関わる方々のモチベーションがより上がったり、継続が可能になったりするようになって考えられます。

☆ニュースレター99号でご案内した「商店街オープン」でも、市民と行政の協働によって、その場のファンができ、応援していきたいという気持ちになるようです。様々ななかかわり方があり、これからの「協働」にはグラデーションを認めて、色々な色の間を行き来できるような仕組みを考えることが必要になるのかもしれない。